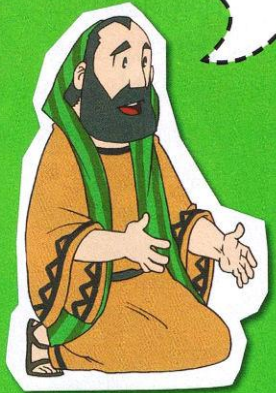


1か



こどもが するべき
ピレモンへのてがみ

じゅうしょくしゃの しゅくふくは
ちじょうで いちばん
うつくしい しょくぶんです



ピレモン 1:1~3

キリスト・イエスの囚人であるパウロ、および兄弟テモテから、私たちの愛する同労者ピレモンへ。また、姉妹アピヤ、私たちの戦友アルキポ、ならびにあなたの家にある教会へ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。

1. 唯一の時刻表のなかにいるためです

- (1) モーセは400年ぶりに福音回復の主役になりました(出3:18)
- (2) イザヤは約800年ぶりに福音を回復した預言者でした(イザヤ7:14)
- (3) ピレモンは700年ぶりに福音を回復する時代に、パウロを助ける重職者でした(ピレモン1:1~3)

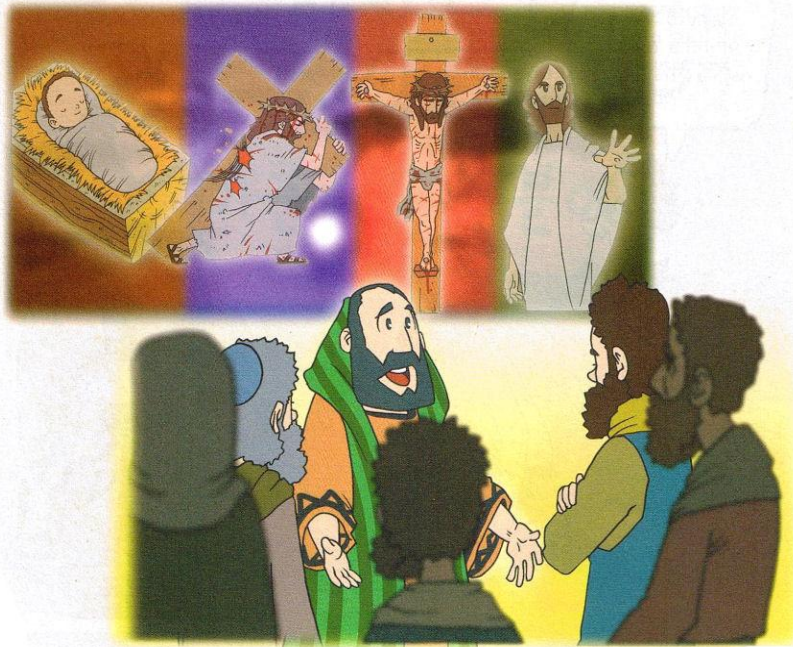


2. 初代教会の祝福を見た重職者であるためです

- (1) イエス様の誕生（初臨）を見ました(マタイ1:19~23)
- (2) 十字架の死を見ました(マタイ28:1~15)
- (3) イエス様の復活を見ました(マタイ28:16~20)

3. 時代の宣教師を助ける重職者であるためです (ピレモン1:1~4)

- (1) 愛される者でした
- (2) 同労者でした
- (3) 祈りの中にある者でした



背景のはなし

ピレモンへの手紙は、監獄からパウロがピレモンに送った手紙です。ピレモンのしもべにオネシモという奴隷がいました。オネシモは、主人の財産を盗んで逃げたのですが、パウロに出会って変わりました。このことを知っていたパウロは、オネシモの主人であるピレモンに、オネシモを送るので、ゆるして、キリストのひとりの兄弟として受け入れて、福音を伝えるようにさせてくださいと頼んだのでした。

パウロのようにならなう

パウロは、どんな心でピレモンに手紙を書いたのでしょうか。福音を伝えたい友だちがいるなら、パウロが抱いていた福音の心で祈って、友だちに手紙を書いてみましょう。

2か



こどもが するべき
ピレモンへのがみ

この じだいに
パウロの ような でんどうしゃが
ひつようです

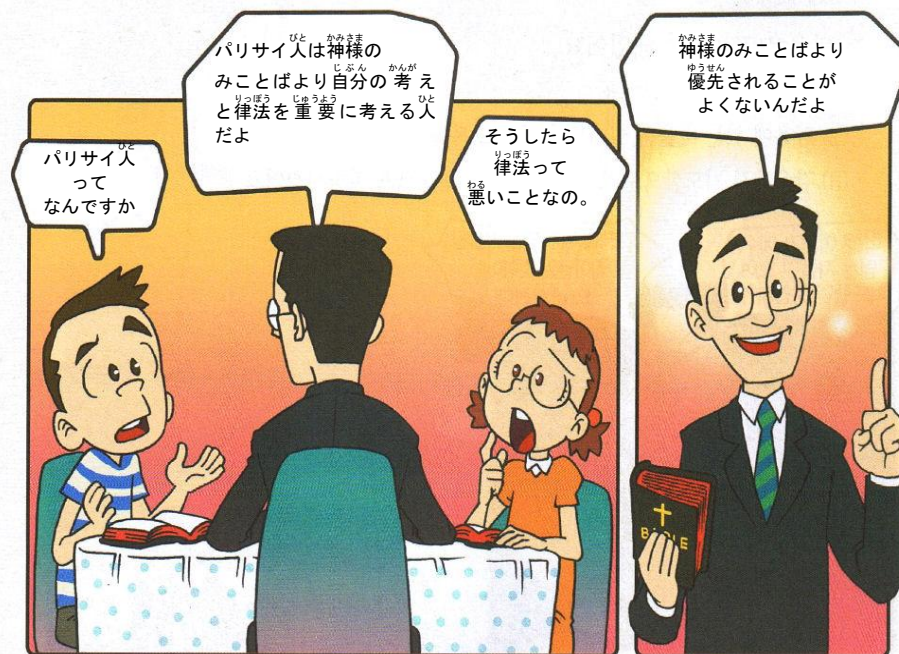


ピレモン 1:4~7

私は、祈りのうちにあなたのことを覚え、いつも私の神に感謝しています。それは、主イエスに対してあなたが抱いている信仰と、すべての聖徒に対するあなたの愛について聞いているからです。私たちの間でキリストのためになされているすべての良い行ないをよく知ることによって、あなたの信仰の交わりが生きて働くものとなりますように。私はあなたの愛から多くの喜びと慰めを受けました。それは、聖徒たちの心が、兄弟よ、あなたによって力づけられたからです。

1. 彼は本来はイエス様を信じる人を迫害する者でした

- (1) 人を先に立たせてステパノを死ぬようにしました(使徒7:1~60)
- (2) イエス様を信じる人を捕まえる者でした(使徒8:1~3)
- (3) ダマスコへ行く途中、復活されたイエス様に出会いました(使徒9:1~15)
- (4) 律法についてはパリサイ人、その熱心は教会を迫害する者でした(ピリピ3:1~9)



2. キリストに出会った以後、キリストを伝える第1の宣教師になりました

- (1) イエスに出会った後に悔い改めました(使徒9:1~15)
- (2) 宣教師として派遣されました(使徒13:1~4)
- (3) マケドニヤに福音を伝えました(使徒16:6~10)
- (4) ローマに福音を伝えました(使徒19:21、23:11、27:24)
- (5) イスパニヤに福音を伝えました(ローマ15:23)

3. パウロは伝道者になりました

- (1) コロサイ地域で伝道運動を行いました
- (2) ピレモンに出会いました(ピレモン1:6)
- (3) テキコとオネシモを派遣しました(コロサイ4:7~8)



背景のはなし

私たちは神の子どもです。神の子どもだという事実を感謝しながら、パウロをきれいに色をぬりましょう。



パウロのように表現してみましょう

私の家族のために祈る時間を持ってみましょう。また、まわりに私の家族や私のために祈っている人がいるなら、感謝の心を表現してみましょう。

3か



いのることができてこそ
しんこうせいかつを
することができます

こどもが するべき
ピレモンへのがみ



ピレモン 1:4

わたしは、祈りのうちにあなたのことを覚え、い
つも私の神に感謝しています。

1. 祈りはすべてのことを解決することができます

- (1) 定刻祈りの時間には生活がいやされます (使徒3:1、16:11、13)
- (2) 聖霊の満たしのために祈ることは祈りの本論です (使徒1:8)
- (3) 24時感謝、幸せ、力を味わう祈りができれば、祈りの生活をするすることができます (エペソ6:18)



2. パウロは祈りの人でした(ピレモン1:4)

- (1) 定刻、集中、24時祈りを味わう人でした
- (2) 感謝の祈りをささげる人でした
- (3) すべての信徒のために祈りました

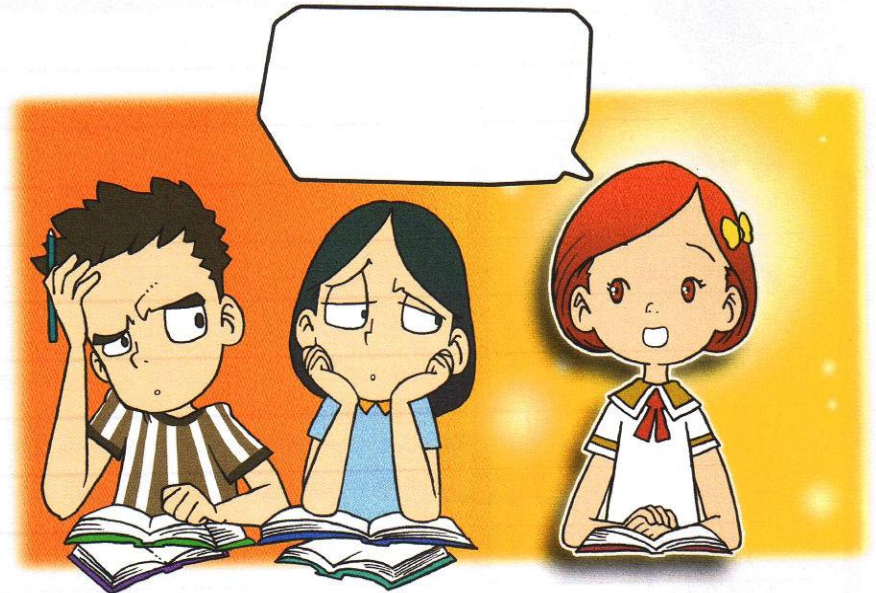
3. この祈りの中にある人はほんとうに幸せな人です

- (1) いつも感謝します(ピレモン1:4)
- (2) 愛と信仰があります(ピレモン1:5)
- (3) 信仰の交わりを通して良い行いを知らせます(ピレモン1:6)



ひょうげん 表現しよう

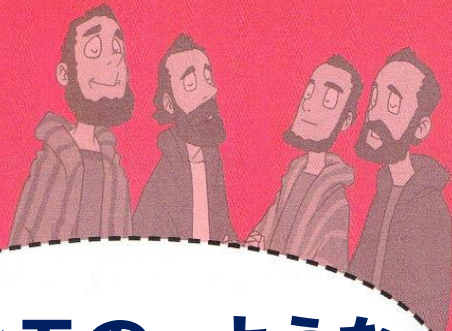
きょういちにち くる 苦しんでいる友だちはいるかな。苦しんでいる ともだちにみことばを伝えることを考えて、空いている ところにことばを書いてみよう。



パウロのように祈ってみましょう

きょういちにち どれほど かみさま たいわ じかん も 今日一日、どれほど神様と対話の時間を持ちましたか。いま、私の頭の中に かんが かんが かんが 浮かんでくる考えを神様にお話してみましょう。

4か



オネシモの ような
ひとを いかすことが
できるのが
ふくいん です

こどもが するべき
ピレモンへのがみ



ピレモン 1:8~22

獄中で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお願い
したいのです。彼は、前にはあなたにとって役に立たない
者でしたが、今は、あなたにとっても私にとっても、役に
立つ者となっています。そのオネシモを、あなたのもとに
送り返します。彼は私の心そのものです。(10~12)

1. オネシモは奴隷(しもべ)であって、ピレモンの家で罪を犯した者でした

- (1) 獄中にいた者でした(ピレモン1:10)
- (2) 役に立たない者でした(ピレモン1:11)
- (3) 負債を負っている者でした(ピレモン1:18)



神様の子どもがともに祈るとき
暗やみの勢力は少しも動くこと
はできない。



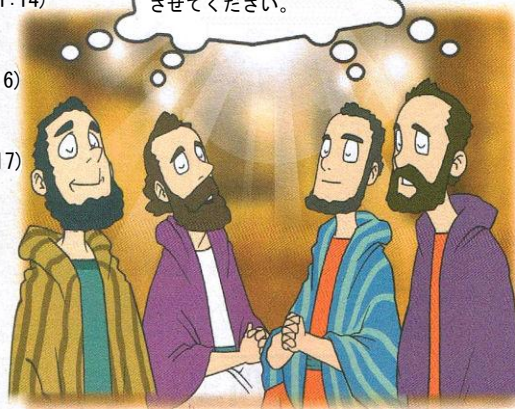
2. 監獄でパウロに出会って 福音を受けるようになりました

- (1) 福音の子になりました(ピレモン1:10)
- (2) パウロの心 そのものになりました
(ピレモン1:12)

3. パウロの願いは感動的です

- (1) 心からお願いをして
同意を求めました(ピレモン1:14)
- (2) 兄弟として迎えるように
お願いしました(ピレモン1:16)
- (3) 同労者として迎えるように
お願いしました(ピレモン1:17)

主よ。私たちが苦しければ
苦しいほど、より主を見上げ
させてください。



* 後にオネシモはコロサイ教会の
監督になりました

聖書から聖句を見つけて3回ずつ書こう

(書く場所がせまいので、ほかの紙に書いてね)

私は、あなたのなすべきことを、キリストにあって少しもはばからず
命じることができるのですが、こういうわけですから、

- 1回
- 2回
- 3回

むしろ愛によって、あなたにお願いしたいと思えます。年老いて、
今はまたキリスト・イエスの囚人となっている私パウロが、

- 1回
- 2回
- 3回

獄中で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお願いしたいのです。

- 1回
- 2回
- 3回

彼は、前にはあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたに
とっても私にとっても、役に立つ者となっています。

- 1回
- 2回
- 3回

そのオネシモを、あなたのもとに送り返します。彼は私の心そのものです。

- 1回
- 2回
- 3回

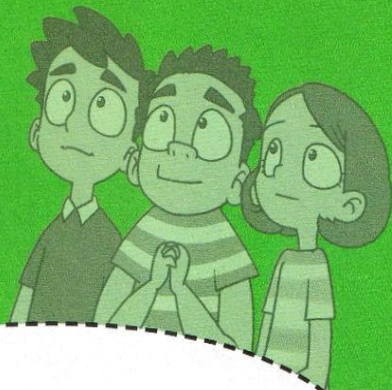
(ピレモン1:8~12)

- 1回

2回

3回

5か



こどもが するべき
ピレモンへのがみ

**わたしたちの
せいかつ の なかで
いちばん しゅくふくと
なることが あります**



ピレモン 1:23~25

キリスト・イエスにあって私とともに囚人となっているエパfrasが、あなたによろしくと言っています。私の同労者たちであるマルコ、アリストアルコ、デマス、ルカからもよろしくと言っています。主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊とともにありますように。

1. まことの弟子が私の生活の中にあることが一番大きな祝福です

- (1) イエス様が最後に頼まれたことは弟子とみなさいということでした (マタイ28:16~20)
- (2) イエス様が残されたのは弟子でした (マタイ10:1~42)
- (3) パウロのそばにたくさんの弟子がいました (ローマ16:1~27)



2. 弟子に他の弟子を紹介することは世の中で最も幸せで値打ちがあることです
(ピレモン1:23~24)

- (1) キリスト・イエスにあってともに囚人となったエパfrasを紹介しました
(ピレモン1:23)
- (2) 同労者たちであるマルコ、アリストアルコ、デマス、ルカを紹介しました (ピレモン1:24)

3. 伝道者と弟子の祝福は永遠なものです(ピレモン1:25)

- (1) 主イエス・キリストの中にあります
- (2) 恵みがあります
- (3) 聖霊とともにあります



タイトル:

メッセンジャー: 聖書箇所:

Handwriting practice area with a grid border and horizontal lines.

